

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I.1	グループホーム独自の理念がない	グループホーム独自の役割に合った理念を作る	法人の理念を念頭に入れ、法人と話しあい推進会議を通してグループホームの役割の確認	3か月
2	I.6	身体拘束について、禁止行為の具体的例がマニュアルに記載されていない	職員間で身体拘束に関して理解と認識を向上	・マニュアルの見直し・具体的に明記し、わかりやすく折り込む	3か月
3	I.10	意見ノート等、設置しているが吸い上げに繋がっていない	家族等の意見を大切にし意見の把握と反映	アンケートの実施	6か月
4	IV-40	食事に対して入居者の関心が薄い	楽しく食事が出来る雰囲気作り	・メニューや味付けなど入居者の意見を取り入れ、食前に口腔体操を取り入れる	6か月
5	IV 52	共有空間が殺風景である	四季の季節感・移り変わりを感じる事の出来る共有空間作り	入居者と一緒に季節に合った飾りつけを行う	6か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。